

## 学 則

1 事業者の名称及び所在地	名称 有限会社 フエルシ 所在地 〒250-0857 神奈川県小田原市柳新田 50-3 やぎゅうビル 2階
2 研修事業の名称	介護職員初任者研修
3 研修課程及び形式	介護職員初任者研修課程 (通学・通信)
4 開講の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に必要な福祉人材を育成する。</li> <li>・地域福祉の向上に寄与する。</li> </ul>
5 研修責任者及び研修コーディネーターの氏名 研修担当部署 研修担当者 研修担当者及び連絡先	研修責任者 遠藤 礼子 研修コーディネーター 府川 康子 研修担当部署 教育事業部 研修担当者 府川 康子 連絡先 0465-38-3366
6 受講対象者(受講資格)及び定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講対象者 介護・福祉の仕事への就業を希望している者</li> <li>・定員 10名</li> </ul>
7 募集方法(募集開始時期・受講決定方法を含む) 受講手続及び本人確認方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般公募する。</li> <li>・開講日の1・5ヶ月～1ヶ月前より募集開始し、自社ホームページ及びタウン誌に募集広告を掲載する。</li> <li>・受講希望者に受講案内(学則を含む)と申込書を送付</li> <li>・受講申込書の提出(郵送可)により手続き。</li> <li>・応募者多数の場合は先着順とする。</li> <li>・本人確認は研修所日に運転免許証又は健康保険証により確認する。</li> </ul>
8 受講料、テキスト代 その他必要な費用	86,800円 (内訳)・受講料 80,000円 ・テキスト代 6,800円
9 研修カリキュラム	別添様式3のとおり
10 研修会場 (名称及び所在地)	小田原市民会館 〒250-0012 小田原市本町 1-5-12 やぎゅうビル2階 〒250-0857 小田原市柳新田 50-3 ぽぽ箱根板橋 〒250-0034 小田原市板橋 933-3
11 使用テキスト (副教材も含む)	介護職員初任者研修テキスト 一般財団法人 長寿社会開発センター 出版事業部
12 研修修了の認定方法 (習得度評価方法含む)	(1)技術演習における習熟度評価 「こころとからだのしくみと生活支援技術」の次の項目について、各演習時間内で技術習得度の評価を各担当講師により行う。チェックリストによりA～Dの4区分で評価を行い、A及びBの者を一定レベルに達している者とする。 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護

	<p>⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護        ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護        ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護        ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護        ⑭総合生活支援技術演習        (評価区分)        A：基本的な介護(介助)が的確にできる        B：基本的な介護(介助)が概ねできる        C：技術が不十分        D：全くできない</p> <p>(2)前科目の修了時に。1時間の筆記試験による修了評価を実施する。次の評価基準により、C以上を評価基準を満たした者として認定する。        A=90点以上 B=80~89点以上 C=70~79点以上 D=70点未満</p> <p>(3)通学のカリキュラムをすべて出席し、上記(1)及び(2)において認定基準を超えている受講者に対し、修了証明書を発行する。</p> <p>(修了評価試験で基準以下の時の取扱い)        担当講師の補修の上、再試験を実施する。        補講 3,500円 再試験 5,000円</p>
13 欠席者の取り扱い(遅刻・早退の扱い含む) 補講の取り扱い (実施方法及び費用等)	<p>理由の如何にかかわらず、5分以上の遅刻・早退は欠席とする。研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、補講を行う。        補講の実施は、講師との日程調整のうえ行う。        補講は、1時間につき1,000円を受講者負担とする。</p>
14 科目免除の取り扱いとその手続き方法	<p>実習先として認められている施設・事業所において過去3年間に1年以上(通算180日以上)の実務経験があるものについて実習を免除する。        受講料の減額なし</p>
15 解約条件及び返金の有無	<p>受講生からのキャンセルについては以下のキャンセル料が発生する。        開講日の5日前~2日前までは受講費の25%        前日は50% 当日は100%        開講後の退校については受講料の返金はしない。        当社からのキャンセル        応募者が6名に満たなかった場合、休講となる場合があるが、受講料は全額返金する。        授業態度不良などによる退校処分の場合、受講料の返金はしない。</p>
16 情報開示の方法 (ホームページアドレス等)	<p>当社ホームページにおいて、情報開示する。  <a href="http://npo-popo.com">http://npo-popo.com</a></p>
17 受講者の個人情報の取り扱い	<p>受講者の個人情報については、本研修の実施に係る業務においてのみ使用する。        なお、修了者名簿は介護保険法施行令第3条第2項第2号イの規定により県に提出する。</p>
18 修了証明書を亡失・き損した場合の取扱い	<p>亡失・き損した場合は、受講生本人の申請により再交付する。        手数料として、1,000円を徴収する。</p>
19 その他研修実施に係る	<p>退校処分の取扱</p>

留意事項	学習意欲が著しく欠け、修了の見込みが無いと認められる場合や、研修の秩序を乱し、他の受講生の授業の妨げとなる場合、退校処分となる場合がある。

## 別添様式3

## 介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名 有限会社 フエルシ

研修事業の名称 介護職員初任者研修

1 職務の理解 ( 6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	2 時間	《講義内容》 ・介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス(居宅・施設)とそれ以外(障害者(児))サービス等)について
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	4 時間	《講義内容》 ・多様な居宅・施設サービス現場におけるそれぞれの仕事内容。 ・様々な働く現場について。 ・ケアプランから始まるサービス提供に至るまでの一連の流れ、チームアプローチ、多職種との連携、地域社会資源との連携等、介護サービスの提供について 《演習》 ・視聴覚教材を鑑賞し、介護職の具体的イメージなどについてグループディスカッションを行う。
合計	6	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ( 9 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	5 時間	《講義内容》 ・介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職である事を自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例について。 《演習》 ・尊厳の保持や自立支援の考え方から、事例についてグループディスカッションを行う。
②自立に向けた介護	4 時間	《講義内容》 ・介護サービス提供の基本視点と実践 ・あるべき主体的な生活を営むために、要介護状態にならない為の予防、要介護状態の重度化を防ぐ為の手立て。 ・介護予防活動の目標及び実践 《演習》 ・介護予防活動を支える 5 つの考え方について、グループディスカッションを行う。
合計	9 時間	

3 介護の基本（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設と居宅という介護環境の特性の理解</li> <li>多職種連携のあり方、それぞれの特性</li> <li>地域包括ケアの役割と機能</li> <li>専門職が行う介護の基本視点</li> </ul> <p>《演習》</p> <p>チームケアの重要性や役割分担などについてグループディスカッションを行う。</p>
②介護職の職業倫理	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護の仕事は公共性の高いものであり、高い倫理性が求められる事。</li> <li>利用者、家族に対する関わり方</li> <li>介護職の社会的責任と倫理について</li> <li>プライバシーの保護・尊重</li> </ul>
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全確保の視点や介護事故の予防及びリスクマネジメントの考え方。</li> <li>リスク分析の方法や視点。</li> <li>事故発生時の対応と報告の仕方</li> <li>情報共有の大切さ。</li> <li>3つの感染経路について。</li> <li>スタンダードプレーションについて。</li> <li>「隔離」について。</li> </ul>
④介護職の安全	1時間	<p>介護職員の健康管理とストレスマネジメントについて学ぶ。</p> <p>介護職員の労働者としての権利と制度について学ぶ。</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を踏まえた手洗い・うがい</li> </ul>
合計	6	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 9 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	3 時間	《講義内容》 ・ 介護保険制度創設の理由。 ・ 介護保険制度の基本的な仕組みや地域支援事業と地域包括支援センターについて ・ サービス提供事業者の指定の仕組み ・ 介護保険財源の仕組み 《演習》 ・ 介護保険の理念についてグループディカッションを行う。
②医療との連携と リハビリテーション	3時間	《講義内容》 ・ 医行為と非医行為について ・ 医療・看護職とのチームケア ・ リハビリテーションについて
③障害者自立支援制度およびその他制度	3時間 時間	《講義内容》 ・ 障害者福祉制度の理念について ・ 障害者自立支援法について ・ 個人情報保護法について ・ 成年後見人制度について ・ 日常生活自立支援事業について
合計	9	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3 時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスにおけるコミュニケーションの目的と意義および役割について</li> <li>・円滑なコミュニケーションの為の共感と利用者理解、自己覚知および言葉遣い・高齢者や障害者のコミュニケーション能力</li> <li>・共感・受容・傾聴的態度・気づきなど、基本的なコミュニケーション</li> <li>・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助支援技術の重要性</li> </ul> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者やその家族が傷つく言葉の事例を挙げ、その理由についてグループディスカッションする。</li> </ul>
②介護におけるチームのコミュニケーション	3 時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームにおけるコミュニケーションの有効性、重要性についておよびチームアプローチの効果と意義について</li> <li>・記録等を作成する介護職一人一人の理解が必要である事</li> <li>・介護実践においてなぜ記録が重要か、その意義と目的。又前提である観察と情報収集の重要性と心得・記録の意義と目的、要領。</li> <li>・介護サービスの提供には相互の信頼関係、コミュニケーションによる共感的な理解が不可欠である事</li> <li>・利用者の思いを把握する力</li> <li>・信頼をつくるには相手をよく理解して、人としての尊厳とプライバシーを尊重すること</li> </ul> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別援助計画、ヒヤリハット報告書を実際に作成する。</li> </ul>
合計	6	
6 老化の理解（6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢に伴う五感の変化や日常生活に与える影響やケアを行っていく上での注意点について</li> </ul> <p>《演習》</p> <p>老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響を踏まえケア提供時に注意すべき点について事例を基にグループディスカッションする。</p>

②高齢者と健康	3 時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の意味について理解し、体におこる加齢変化について学ぶ。</li> <li>・ 健康の意義について学び、個人と家族のライフスタイルについて理解する。</li> </ul> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加齢に伴う変化について、どのように気付くことができるか、グループディスカッションする。</li> </ul>
合計	6	



7 認知症の理解( 6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	1 時間	《講義内容》 ①認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方およびパーソン・センタード・ケアについて学ぶ。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2 時間	《講義内容》 ①認知症の定義、診断基準など認知症の基礎知識。 ②加齢に伴う物忘れと認知症の違いおよび認知症の初期症状、診断基準について ③認知症の原因となる疾患の種類についてアルツハイマー型認知症と血管性認知症・レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症・その他について ④認知症の中核症状と行動・心理症状(B P S D)・薬物療法について
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常	2 時間	《講義内容》 ①問題とみなされがちな行動・心理症状は認知症という病気に伴うものであることおよび対処方法について ②行動・心理症状が誘発される介護職の不適切なケアと適切なケア ③認知症の人の言葉や表情、しぐさから中核症状の及ぼす影響や生活支援の具体的な対応。 ④認知症の人の日常生活介護における留意すべき視点。
④家族への支援	1 時間	《講義内容》 ①認知症高齢者を介護する家族の負担感やその要因および、家族の世話と専門家のケアの違い。 ②家族介護者が在宅で出来る事と社会サービスの有効利用について。 ③家族の気持ちや家族が受けやすいストレスについて。 ④認知症介護の深化が問われる時代であること、および当事者の声を汲み取ったケアについて。 ⑤当事者や家族とのコミュニケーションや、その願いや介護職に期待されることについて。 《演習》 ・認知症の人を介護する家族の気持ちやストレスについて、事例を基にグループディスカッションする。
合計	6	

8 障害の理解（ 3時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	1時間	《講義内容》 ①障害の概念とICFの考え方について ②障害の受容のプロセス、介護職の役割 ③ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョンについて
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	1時間	《講義内容》 ①身体障害は、日常生活や人の心理や行動にどのような影響を与えるか。 ②知的障害は、日常生活や人の心理や行動にどのような影響を与えるか。 ③精神障害の症状や特徴、障害に応じた生活支援上の留意点や、一人の生活者として関わることの重要性。 ④言語・聴覚障害の理解及び日常生活への影響や介護上の留意点。 ⑤視覚障害を理解及び日常生活への影響や介護上の留意点。 ⑦発達障害は日常生活や人の心理にどのような影響を与えるのか。 ⑧高次脳機能障害についての理解と介護のポイント。 ⑨内部障害のそれぞれの特色や注意点、介護の方法。 ⑩難病の特性、患者の心理や医学的課題・社会的課題など。
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	《講義内容》 ①家族の心理の一般的家庭や負担、家族支援の概要について。 ②介護負担とその要因、必要性を理解した家族支援とQOLの向上との関係。 《演習》 ・障害の受容の段階とそれぞれにおけるささえるケアについて、グループディスカッションする。
合計	3	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（78 時間）			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①介護の基本的な考え方	3 時間	《講義内容》 ①利用者一人一人に適切な介護を行うための基本的な考え方を、根拠に基づく介護の大切さ。 ②介護保険制度下の介護サービスについて
	②介護に関するこころのしくみの基礎理解	3 時間	《講義内容》 ①加齢に伴うこころの変化の日常生活への影響と高齢者の心理。 ②高齢期に生じやすい心理・社会的環境の変化について、それに応じた適応のしかたについて。 ③喪失体験について、自己有用感について ④生きがい作り支援の視点。
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4 時間	《講義内容》 ①介護の専門職として必要な、身体各部の名称や働き ②基本動作における実際の動きやボディメカニクスの介護への活用。 ③人間のからだの働きをコントロールしている神経系について。 ④自律神経系について。 ⑤健康チェックの意義や、脈拍・血圧・体温・呼吸の観察ポイント。	
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	5 時間	《講義内容》 ①生活における家事支援の必要性 ②利用者が望む衣食住の生活支援について ③家事支援は利用者の自立と QOL の向上に向けた制度に基づいた援助であること及び私的な手伝いではない事。 《演習》 ①掃除
	⑤快適な居住環境整備と介護	5 時間	《講義内容》 ①住居のあり方とおした、個人のプライバシーや地域との交流など、障害者や高齢者にとって快適な住居整備について ②高齢者や視覚障害をもつ人への明るさ、防音、冷暖房と湿度のバランス、電気やガス器具の安全な使用について ③福祉用具の活用に関する基本的な考え方 や主な福祉用具の基礎知識と利用方法 《演習》 ・福祉用具について

<p>⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①日常生活の中の整容の意味およびその基礎知識としくみ</p> <p>②身体の清潔を維持する事の意味および採血介護のポイントと手順</p> <p>③部分的な清潔維持の方法および寝たきり状態における清潔維持の方法</p> <p>④口腔ケアの意義とその基本となる口腔や歯について</p> <p>⑤口腔の清潔保持や口腔体操</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服着脱の介護についての演習を行う。</li> <li>・口腔ケアの介護について演習を行う。</li> </ul>
<p>⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①体位と姿勢について</p> <p>②衣類の着脱のもつ意味および着脱時の介護のポイント</p> <p>③移乗および移乗動作および移乗の為の補助具</p> <p>④車いすについて</p> <p>⑤生活の中で外出のもつ意味と外出時のポイント</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗の介護、移動の介護に関連する演習を行う。</li> </ul>
<p>⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①食事のもつ意味と食べ物の咀嚼と嚥下のしくみ</p> <p>②食事の自助具の特徴および誤嚥させない介護のポイント</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の介護に関連する演習を行う。</li> </ul>
<p>⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①入浴のもつ意味や個別性および皮膚の生理的機能や皮膚の汚れについて</p> <p>②清潔行動の仕組みと清潔保持の為の安全な援助方法</p> <p>③入浴介護のポイントや手順</p> <p>④特殊な用具や浴槽の特徴や障害別の入浴の介護方法</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の介護、清潔保持に関連する演習を行う。</li> </ul>
<p>⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①排泄の持つ意味と排泄の仕組みおよび介護の原則</p> <p>②排泄用具の特徴と介護のポイント</p> <p>③おむつの特徴と使用時の留意点</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の介護に関連する演習を行う</li> </ul>
<p>⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>5時間</p>	<p>《講義内容》</p> <p>①睡眠の意味やリズムや種類</p> <p>②高齢者の睡眠の特徴と安眠への支援</p> <p>③寝具を整える事の意味やポイント</p> <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に安楽な姿勢、褥瘡予防に関連する演習を行う。</li> </ul>

	⑫死にゆく人に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	5 時間	《講義内容》 ①終末期とその時の家族へのケア ②終末期における緩和ケアと家族ケア 《演習》 ・「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように身近な素材を示し、それに対してのグループディスカッションを行う。
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	6 時間	《講義内容》 ①介護過程の目的と意義・展開およびチームアプローチについて ②普段の体調管理の重要性 人生暦を知り孤独にさせない工夫 《演習》 「ケアプランの作成」についてグループディスカッションを行う。 事例に基づき、ケアプラン又は個別援助計画書を作成する。
	⑭総合生活支援技術演習	6 時間	《演習》 ①2 事例を挙げ、次の流れで展開する。 ②状態像の把握(情報収集)→アセスメントの記入→介護計画の立案→グループ討議と介護計画の一本化→介護手順書の作成→介護手順書の本化→グループ別発表→評価→評価結果の報告→まとめ
実習		実習 11 時間	《オリエンテーション》 ・実習施設等の利用者の健康、安全及び人権に配慮する。 《実習先》 ・訪問介護事業所および通所事業所もしくは施設から、受講生の希望により実習先を選択する。 《実習内容》 ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容の理解
	合計	78 時間	
10 振り返り ( 4 時間)			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	① 振り返り	2 時間	《講義内容》 ①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだ事について再確認する 《演習》 ・研修で学んだことの中から特に意味深いと感じた点について、グループディスカッションする。
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2 時間	《講義内容》 ①継続的に学ぶべき事や研修修了後の継続的な研修について
	合計	4 時間	
	全カリキュラム合計時間	133 時間	

別添様式 5

標準研修日程表

事業者名 有限会社 フェルシ

研修事業の名称 介護職員初任者研修

日程	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	会場
第1日目	9:30~10:30	1	開校式 オリエンテーション	小田原市民会館
	10:30~12:30	2	1-① 多様なサービスの理解	〃
	13:30~17:30	4	1-② 介護職の仕事内容や 働く現場の理解	
第2日目	9:30~12:30 13:30~15:30	5	2-① 人権と尊厳を支える介護	
	15:45~16:45	1	2-② 自立に向けた介護その1	
第3日目	9:30~12:30	3	2-② 自立に向けた介護その2	
	13:30~15:30	2	3-① 介護職の役割、専門性と多職 種との連携	
	15:45~16:45	1	3-② 介護職の職業倫理	
第4日目	9:30~12:30	2 1	3-③ 介護における安全の確保とリ スクマネジメント 3-④ 介護職の安全	
	13:30~16:30	3	4-①介護保険制度	
第5日目	9:30~12:30	3	4-②医療との連携とリハビリテーシ ョン	
	13:30~16:30	3	4-③障害者自立支援制度およびその 他制度	
第6日目	9:30~12:30	3	5-①介護におけるコミュニケーション	
	13:30~16:30	3	5-②介護におけるチームのコミュニ ケーション	
第7日目	9:30~12:30	3	6-①老化に伴うこころとからだの変 化と日常	
	13:30~16:30	3	6-②高齢者と健康	
第8日目	9:30~12:30	1 2	7-①認知症を取り巻く状況 7-②医学的側面から見た認知症の基 礎と健康管理	
	13:30~16:30	2 1	7-③認知症に伴うこころとからだの 変化と日常 7-④家族への支援	
第9日目	9:30~12:30	1 1 1	8-①傷害の基礎的理解 8-②障害の医学的側面、生活障害、 心理・行動の特徴、かかわり支援等の 基礎知識 8-③家族の心理、かかわり心理の理 解	
	13:30~16:30	3	9-①介護の基本的な考え方	

第10日目	9:30~12:30	3	9-②介護に関するところのしくみの基礎的理解	
	13:30~17:30	4	9-③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
第11日目	9:30~12:00 13:00~15:00	5	9-④生活と家事	
	15:15~17:15	2	9-⑤快適な居住環境整備と介護その1	
第12日目	9:30~12:30	3	9-⑤快適な居住環境整備と介護その2	
	13:30~16:30	3	9-⑥整容と関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その1	
第13日目	9:30~11:30	2	9-⑥整容と関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その2	
	11:30~12:30 13:30~17:30	1 4	9-⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
第14日目	9:30~12:30 13:30~15:30	5	9-⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	15:45~17:45	2	9-⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護その1	
第15日目	9:30~12:30	3	9-⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護その2	グループホーム ぼぼ箱根板橋
	14:00~16:00	2	9-⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その1	小田原市民会館
第16日目	9:30~12:30	3	9-⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その2	
	13:30~16:30	3	9-⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その1	
第17日目	9:30~10:30 10:30~12:30	1 2	9-⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その2 9-⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その1	
	13:30~16:30	3	9-⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 その2	
第18日目	9:30~12:30 13:30~16:30	6	9-⑬介護過程の基礎的理解	
第19日目	9:30~12:30 13:30~16:30	6	9-⑭総合生活支援技術演習	
	16:30~17:00	0.5	介護実習についての説明と注意点	
第20日目	9:00~13:00	4	実習(訪問介護事業所)	歩歩訪問サービス
第21日目	9:00~17:00	7	実習(通所事業所もしくは施設)	ぼぼハウス三の丸 ぼぼ箱根板橋

第 22 日目	9 : 30～11 : 30	2	10-①振り返り	
	11 : 30～12 : 30 13 : 30～14 : 30	2	10-②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
	14 : 45～15 : 45	1	修了評価	
	15 : 45～16 : 45	1	試験結果集計・採点・合否発表	
第 23 日目 予備日	9 : 30～10 : 30 10 : 30～11 : 30		不合格者補修 再試験	
第 24 日目	9 : 30～11 : 30		閉講式	

\*オリエンテーション、修了評価試験も記載する。